

2022 年 12 月 27 日

各位

MCP アセット・マネジメント株式会社
代表取締役社長 田中徹也

**脱炭素化ベンチャー支援ファンド・オブ・ファンズ投資事業有限責任組合
(通称:脱炭素化 VC FOF)の設立について**

弊社は、「脱炭素化ベンチャー支援ファンド・オブ・ファンズ投資事業有限責任組合(通称:脱炭素化 VC FOF)(以下、本ファンド)」をファンド総額 60.6 億円にて 2022 年 11 月 24 日に設立、運用を開始致しました。

本ファンドは、2050 年ネット・ゼロに向けて気候変動問題解決に取り組むスタートアップ企業を支援するために東京都の資金を得て設立した脱炭素化ベンチャー・キャピタル・ファンドに投資する国内初のファンド・オブ・ファンズ(以下、FOF)です。また、本ファンドは、「中小企業 M&A 投資業有限責任組合(通称:事業承継 M&A ファンド・オブ・ファンズ)」(2020 年設立)に続いて弊社が東京都から出資を受けて運用する 2 つ目の FOF になります。

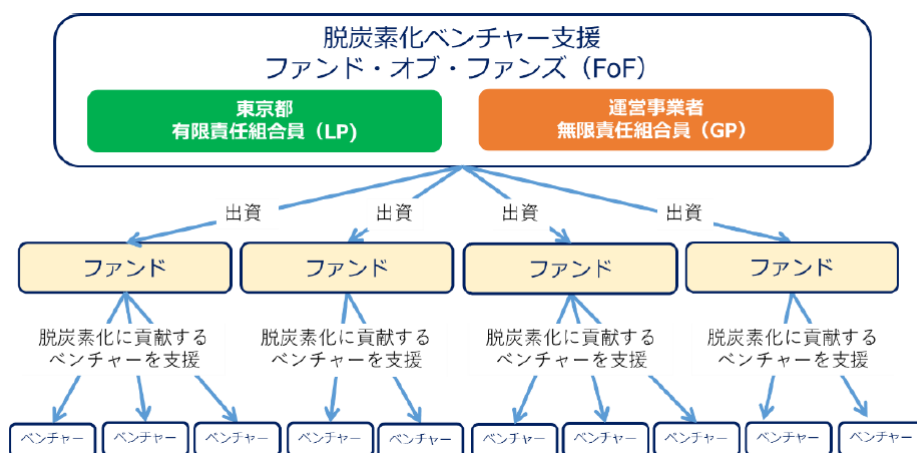
本ファンドは、気候変動問題の解決に貢献する技術・サービスを開発するスタートアップ企業を支援・育成するベンチャー・キャピタル・ファンドへ投資することを通じて、グローバル市場で競争力のあるスタートアップ企業を東京から産み出すこと、また本ファンドが呼び水となってより多くのリスクマネーが本分野に投じられることを目指します。本ファンドは少なくとも 4 ファンド以上に出資し、それらのファンドを通じて多様な分野のスタートアップ企業に投資を行い、また投資先ファンドのマネージャー(GP)及び投資先企業に対して様々なサポートを行います。また、投資リターンだけでなく、インパクトを測定する仕組みをGPおよび投資先企業と協働して構築し、その達成状況に関して「インパクト・レポート」などの形で情報を発信致します。

本ファンドは、20 年以上国内外のプライベート・エクイティ・ファンド投資経験をもつ小林和成(元三菱商事、キャピタル・ダイナミックス)をヘッドとするチームと、本分野で豊富な実績を有する 3 名のアドバイザー(深沢英昭(元東京海上キャピタル代表取締役)、勝又幹英(株式会社 INCJ 代表取締役)、出馬弘昭(IZM 代表、東北電力株式会社アドバイザー))が連携し、プロアクティブに投資活動と投資先ファンドの支援を行います。

【本ファンドの概要】

名称	脱炭素化ベンチャー支援ファンド・オブ・ファンズ投資事業有限責任組合(通称:脱炭素化 VC FOF)
ファンド総額	60 億 6,000 万円
有限責任組合員(LP)	東京都
無限責任組合員(GP)	MCP アセット・マネジメント株式会社
設立日	2022 年 11 月 24 日
存続期間	15 年間(2038 年 2 月 28 日まで)

(ファンドのスキーム図については、下記をご参照)



(ご参考)

東京都 脱炭素化ベンチャー支援ファンド・オブ・ファンズ(FoF)の出資について:

<https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/hodohappyo/press/2022/12/27/02.html>

本ファンドのウェブサイト:<https://www.tokyo-vc-fof.jp/#>

(お問い合わせ先)

MCP アセット・マネジメント株式会社

プライベートエクイティ投資運用部 マネージング・ディレクター 小林和成

Kazushige.kobayashi@mcp-am.com

03-3517-8853